

東舞子

2016/05/31 (6月号)

神戸市立東舞子小学校

平成28年度学校だより

<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

教育活動が信頼関係を育む

新しい年度が始まって早2ヶ月が経ちました。初夏の陽射しを受けて、本校の木々の緑も新緑から深緑へ、いっそう色濃くなってきました。先日の日曜日に行いましたオープンスクールには、大勢の保護者の皆様にご来校いただき、深く感謝申し上げます。子供たちは、今、6月11日(土)の運動会へ向けて、それぞれの学年で一生懸命練習に取り組んでいます。どうぞ、運動会当日は、子供たちに熱い声援をお願いいたします。

さて、先日、6年生の子供たちと一緒に社会科の歴史学習で奈良の平城京跡と奈良公園まで校外学習へ行ってきました。先生方の綿密な計画の元現地での行動は、グループ単位による班行動でした。当日は、晴天だったこともあり、大勢の観光客(修学旅行と見られる中高生や外国からの旅行者など)が東大寺や春日大社のある奈良公園を訪れていました。子供たちは、基本的には班による自由行動で決められた時間内にお弁当を食べる場所も含めて、計画したコースを巡るという学習です。



私も、他の学校で高学年を担当していたとき、何度か奈良を訪れたことがあります。子供たちに班行動をさせるには、安全確認のための十分な下見と実施するにあたっての勇気があるものです。何より、6年生の先生方が、子供たちを信頼していなければ、このようなことはできません。お弁当を食べていた際、奈良公園の鹿に困惑していたグループはありましたが、どのグループも、脱落することなく時間内に予定した場所へ戻ってくることができました。当日は、5月とはいえ、30度近い気温だったので、子供たちの水筒のお茶は、ほとんど空っぽになっていました。帰路に着く前でしたが、給水所が近くになかったこともあり、6年生の先生方の判断で、ペットボトルの水とお茶が児童に振舞われました。私は、6年生の子供たちと先生方の信頼関係に感銘するとともに、強い絆を感じました。出発前のあいさつで、私は、今回の校外学習が歴史学習であるとともに、6年生の力が試される集団行動の場であることを話しました。けれども、東舞子小学校の6年生にとって、この話は無用だったと後で思いました。

いよいよ、運動会まで後2週間を切りました。6年生の組体操をはじめとして、それぞれの「集団演技」において、練習途中で乗り越えなければならないハードルが出てきます。それは、子供たちに育てたい力を想定して、各学年の先生方が敢えて用意した「ハードル」です。それらのハードルを、ときには弱音を吐きながらも、仲間と励まし合うことで、乗り越えてほしい、そして、最後には、子供たち自身が、演技し終えた達成感に繋げていってほしいと願っています。

日々の教育活動や学校行事を通して得られる児童と先生の信頼関係があるからこそ、学校教育が成り立っていると言っても過言ではありません。このような信頼関係に裏打ちされた学校で、子供たちや先生方と共に過ごせることを私は誇りに思います。校長 梅鉢 泰博